

瑞浪市立地適正化計画（案）に対するご意見と市の考え方

・意見提出人数 1人（内訳 市内 1人、その他 0人）

・意見数 5件

いただいたご意見・情報について、市の考え方を次のとおり公表いたします。

※事務局にて、ご意見のポイントと思われる箇所に下線を表示しています。

番号	ご意見	市の考え方（修正内容）
1	<p><u>瑞浪市で生活の全てをまかなう必要はない。</u> <u>瑞浪市もひとつの市であるから市内で必要なものをまかないたいという考え方はわかる。</u>しかし一方で他の地域に期待しなければならぬものも多い。たとえば高度医療を行う病院、専門性の高い物品の購入、あるいは映画やコンサート、美術鑑賞、ファッションなどは<u>名古屋をはじめ周辺の都市にあるものを有効に利用することも重要である。</u>瑞浪で都市機能を誘導する場合、本当に必要な機能を精査して誘導した上で、他市からも必要とされ期待される機能をもつような瑞浪市らしさをもった誘導を期待したい。</p>	<p>ご意見にあるように、瑞浪市内だけで全ての物やサービスが手に入ることを目的とした計画ではありません。この計画にあるまちづくりの方針は「中心市街地での都市機能の維持と周辺地域との交通ネットワーク強化」です。計画では、現状の都市機能を維持していくことを目標として、誘導施設には、医療・商業・文化社会教育・行政施設を位置付けています。</p> <p>今後も、広域的な視点で都市機能の配置や必要機能を把握しながら、施策の実現や、計画の検証・見直しを行っていきます。</p>
2	<p><u>他のシステムとの兼ね合いを考慮してほしい。</u> はたしてバス等で自分が移動して生活サービスを受けるといったスタイルを前提としてよいのでしょうか。<u>近年はテレビショッピングやカタログ販売などの通販や、スマホやパソコンでインターネットを通して通販サイトから物を購入するひが増えています。</u>これは若い人たちだけでなく50代60代の方やさらに高齢の方々も利用しています。また行政サービスなどもインターネットを通して文書をメールでやり取りすることなどで、人が移動することなく対応できる部分があるようです。<u>医療でも遠隔診療や医薬品の配送システムを使えば人の移動を相当減らすことができます。</u>IT技術は日々変化していきますから予測できないこともありますが、<u>どのような施設を誘導するかを検討す</u></p>	<p>今回の計画策定にあたっては、現在の社会環境や技術を前提に策定しています。現在開発中の技術やサービスについては、計画に反映していませんが、今後ご意見のとおり、情報ネットワークや物流の形態・技術が進歩していくことが期待されます。概ね5年毎に計画の見直しを行っていきませんが、その際には、これらの社会情勢の変化をしっかりと把握した上で検討していきます。</p>

	<p><u>る上で重要な要素になると思います。</u></p>	
<p>3</p>	<p><u>民間企業の営みを調整することに対する不安。</u></p> <p><u>この計画では大規模小売店舗や病院を誘導施設に含め、またコミュニティバスの再編を施策としています。しかし本来店舗や病院は人がいるところに造るものであり、それらがあるから人が集まるものではありません。またバスも利用客が見込める程度に人が住んでいるから路線がつくれるわけであり、路線があるから人が住むようになるわけではありません。戦後の東京の西武鉄道などの開発などのようなわけにはいきません。またコミュニティバスの他にもデマンド交通やタクシーなどの有機的な連携をあげていますが、市民にとって切実な問題は費用です。タクシーは利便性が高いのですが費用を考えると、たとえば年金暮らしのお年寄りにとっては現実的には利用しにくいものです。民間企業は利潤を求めものですから、やはり行政の計画としては民間に頼らない施策をプラスしてほしいと思います。</u></p>	<p>ご意見のとおり、民間の商業施設等は、人口が集積している場所、収益が見込める場所に立地されます。さらに、利便性を求めて、その周辺に人が集まってきます。しかしながら、今後人口密度の低下が進行し、収益が見込める場所でなくなれば、企業は撤退してしまい、そこに利便性を感じていた人も転出して、さらに人口減少が進みます。このような負のスパイラルに陥らないように、今の時点からまちづくりとして取り組んでいく計画です。</p> <p>また、この計画が策定され公表された時点で、都市再生特別措置法による届出制度が義務化されますが、この届出の目的は、事業者の動きを瑞浪市が把握し、まちづくりに活かしていくことにある、民間企業の経済活動を制限するものではありません。</p> <p>なお、公共交通に関しては、コミュニティバスやデマンド交通は、瑞浪市の施策として行っています。料金を含めた運営方法については、見直しを行いながら、今後も利便性の維持向上を図っていきます。</p> <p>行政だけでは、まちづくりは実現できません。官民それぞれがうまく連携し、それぞれが持続可能な都市構造になることを目指します。</p>
<p>4</p>	<p><u>もっと長い歴史で分析すべきである。</u></p> <p>本資料の人口推計などのデータが平成以降のデータ分析となっています。財政運営や交通計画については近年の分析でよいと思いますが、<u>まちや集落の構成を考える場合はもっと長い歴史で分析していただきたい。</u>瑞浪は昔から豊かな田畑の中に民家が散在し、いくつかの街道沿いに集落が構成された地域であり、その後紡績や陶器などの産業が盛んになり、国道、鉄道がつくられて現在の姿に近い町となった町です。陶、釜戸、日吉などはその頃の集落の姿を残しているのではないのでしょうか。その後国道が新しくなり、区画整理や大規模な工場誘致があつて現在</p>	<p>この瑞浪市立地適正化計画は、将来の人口推計を考慮し、都市機能を維持することで、これまでの歴史からつくられてきた現在の居住環境を、維持することを目標としています。</p> <p>ご意見にあるとおり、周辺地区それぞれの暮らしがあつて、瑞浪市の個性が形成されています。前述のとおり、瑞浪市内で、ある程度の必要な物やサービスが手に入る環境を維持していかなければ、周辺地域での暮らしも困難になると考えます。</p> <p>計画本文中に、これまでの歴史については触れてはいたませんが、これまでの歴史や文化のあるそれぞれの地域の暮らしについては、瑞浪市総合計画や、都市計画マスタープランに位置付け</p>

	<p>の姿になっていますが、それは瑞浪駅に近い地域のことで、瑞浪市全体を考えるならば、陶器産業が盛んになる時代前後までさかのぼって考える必要があると思います。<u>現在の状況をスタートとして人口減少や高齢化などの問題に取り組むよりも、町の成り立ちを踏まえたうえで将来どう進むべきかを見据えて、生活サービスをどう展開していくべきかを考えると、また違った答が得られるのではないのでしょうか。</u></p>	<p>ています。この立地適正化計画は、これらの関連計画と連携して推進されていく計画としていません。</p>
<p>5</p>	<p><u>もっと人の顔が見える計画が欲しい。</u></p> <p>瑞浪市に住んでいる人は、そこが住みやすい町だからというよりも、昔から住んでいるから、あるいは瑞浪市になにか縁（ゆかり）があるからという方が多いようです。<u>今後人口が減った時に残っているのは、いま瑞浪市に住んでいる人とそれに縁のある人が多いと予想されます。この計画の都市機能の誘致や公共交通の適正化の対象となる人は、そういった方々ではないのでしょうか。本資料では人口密度のデータや交通手段の分析が詳細に行われていますが、本来は「釜戸の人たちの声」、「陶の人たちの声」、「日吉の人たち」、「大湫の人たち」、「稲津の人たち」の声を具体的に取材し計画に取り入れるべきではないのでしょうか。大都市の壮大な計画ではなく地方都市の集落をどうするかという計画なのだから、そうした人々の思いを汲んだ人間臭い計画が求められていると思います。</u></p>	<p>瑞浪市の最上位計画である、瑞浪市総合計画は、市民アンケート等様々な形で皆さんの声を受けた計画となっています。この立地適正化計画は、その総合計画にある瑞浪市を実現させる方法の一つとして、都市機能の維持を目的とし、まちづくりの視点から取り組む計画と位置付けています。</p> <p>今後もまちづくりを進めていく中では、様々な方法で市民の皆さんのご意見を聞いていきます。この瑞浪市立地適正化計画や関連計画により、将来にわたり、瑞浪市らしさが維持されるようなまちづくりを推進していきます。</p>